

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-84)、
廃棄物管理施設(59)、MOX燃料加工施設(2-45))」

2. 日時：令和5年8月8日(火) 10時00分～11時45分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

大橋上席安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場
崎主任安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、山口係員、横山
原子力規制専門員

日本原燃株式会社

燃料製造事業部 燃料製造建設所 許認可業務課長(副部長) 兼 再処理事業
部副部長(設工認) 他2名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年8月4日
及び8月7日の提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

- ・再処理施設における構造設計等を説明する上での設備分類の設定
- ・設計基準対象施設と重大事故等対処施設とで併せて説明すべき事項とそ
れぞれ説明すべき事項の整理

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・再処理施設の設備分類については、各設備で説明すべき構造設計等と対応
する条文との関係を整理し、説明の優先順位や、先行して説明する分類に
おける説明範囲等を明確にして説明する。
- ・設計基準対象施設と重大事故等対処施設とで併せて説明すべき事項の整
理については、重大事故等対処施設に対する添付書類等で説明する事項と
設計基準対象施設と併せて記載する添付書類等で説明する事項との線引
きを明確にし、併せて説明する際に重大事故等対処施設に対して追加で考
慮すべき事項を整理する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年

2月28日)

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年8月4日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

- ・ 令和5年8月7日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	録を開始しました。
0:00:04	規制庁横山です。ただいまから、日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:09	本日のヒアリングは、令和4年12月26日に申請があった、再処理施設及び廃棄物管理施設、令和5年2月28日に申請があったMOX燃料加工施設について、
0:00:22	8月4日及び7日提出の資料をもとにヒアリングを行うものになります。
0:00:27	規制庁側出席者は、本庁からオオハシカミデタケダヨコヤマ。
0:00:34	ウェブからタジリヤマグチ。
0:00:37	譲渡、以上となります。
0:00:39	それでは日本原燃から、出席者の紹介と本日の議題、達成目標について説明をお願いします。
0:00:47	はい。日本原燃石原でございます。
0:00:50	はい。本日、最初、日本原燃の出席者でございますが、Steeringチームとしてイシハラ、あとサポーターとしてセガワ、シミズが参加をさせていただきます。
0:01:04	6ヶ所からそれ以外の事務局関係者そアノをそろえておりました。以上です。あとは、本日の説明資料ですが、8月4日に提出をした再処理施設の設計説明ぶりの設定等について、
0:01:18	いうものと、8月7日に提出をさせていただきました重大事故に係る設計基準と併せて評価等を行う項目に係るを等の設計事項でいこうと。
0:01:29	二つの資料で説明をさせていただきたいと思います。
0:01:33	本日の達成目標ですが、先週金曜日の今後の進め方部屋でもありました。このタスクの目標を先しっかりと定めてですね、
0:01:44	基本的には細かい話は共通12でありますので、その入口にたくさんの必要な整理をやるということでその考え方等々、方向性に間違いがないかという点について、
0:01:56	確認をしていければと思いました。以上です。
0:02:04	規制庁横山です。
0:02:06	それでは最初、資料の確実りますので、原理から説明をお願いします。
0:02:14	はい、右のイシハラでございます。はい。それでは8月4日付の最終施設の設計説明文の設定というものがまずベースでございます。
0:02:25	この資料ではですね、前回進め方の費用でもありました一番上の左から2番目にあったタスクの話でございますが、

0:02:34	再処理として、今後説明する共通場においてどういう設計説明ぶりを設定をすかと、いうことの整理をしております。
0:02:43	はい。これまでご説明したものに加え、それぞれの設計説明文の中にどんな登場人物がいるかというのを 11 ページからの表 1 にまとめ、
0:02:54	さらに、それぞれの設計説明分類で、どの条文等の設計について説明する必要があるかと言うことを、添付、
0:03:04	1 月タカノロ 1000 ページですかねに、整理をさせていただいております。
0:03:10	こういう整理を進めることで現状我々が考えている設計説明文の中で共通 12 の入口として、資料 2 で登場させる設計説明分類と条文の関係がまず整理ができること。
0:03:26	あとはAそれぞれ資料 2 資料 3 で、添付書類としてどういった対象物を相手にしていけばいいのかと、いうことが整理ができれば、
0:03:36	それぞれ共通 12 の方に入っていけるということで考えております。
0:03:41	加えて再処理ってよりもMOXの方でやりました説明グループの設定をすることで、どこでどの増分の設計方針を軸に説明をしていくかという、説明の進め方ということ、このタスクでは最終的には設定をして、共通に預ける必要がある。
0:04:00	その部分についてはまだ、今後を示しをするということにしております。
0:04:05	はい。
0:04:08	具体的には整理の結果としてまず、
0:04:14	4 ページにある、
0:04:17	次の他のタスクに預けてるDBとSAで同じような説明をしないといけな いものがどんなものがあるのかということで特に評価の関係があるもの は、添付書類上もいろいろと合わせてやるためには、
0:04:32	前提条件等の整理が必要ですので、それがどういったものが対象なの かということ、4 ページで整理をしております。
0:04:40	これの前後関係でこうなってますが具体については、8 月 7 日に計上し た資料の 4 ページと、
0:04:51	同じような整理でございますがこれで、基本的には対象物を選んで、特 に溢水について 8 月 7 日の資料で、どこが合わせて説明ができる範囲 なのかと。
0:05:03	いうことの整理をしようということで、作業を進めておりました。
0:05:08	はい。へえ。
0:05:10	勝学生追浜資料に戻っていただきまして、

0:05:15	3 ページのところ、前回進め方で冷やでも言いましたが、
0:05:20	矢羽根が幾つかありますけども、上から四つめ。
0:05:26	なお書きのところですね、機器設計、説明分類をどの設備とひもづけるかという整理の前提として、
0:05:35	一つの設備に対して終了分を決めて一つの設計説明文を設定すると、いうことを前提に整理を進めようというふうに考えております。
0:05:44	なのでDBとSA系湧水設備については、DB側の市場分を主軸にして設計説明分類を考えようと。
0:05:54	ということがベースの考え方でございます。
0:05:59	はい。そういった前提のもとに、整理を、5 ページ以降に考え方をまとめ、その結果として9 ページに、樹形図のような形で、
0:06:11	設計説明分類脳幹考えた結果を載せております。
0:06:16	この9 ページのような図を作って設計説明分類を設定した上で、添付1で確かにこのそれぞれのグループで同じような設計の説明になってるよねと。
0:06:28	いうことを確認をして、
0:06:32	多少出入りをさせてますそれが、
0:06:36	5 ページでいくと、添付1の整理結果の考察と書いているところ、6 ページにも同じような、添付1の整理結果の考察というのがあって、
0:06:47	添付1を整理した結果、やはりこういう整理で、修正をした方がいいということを考えて、
0:06:56	説明ぶりの設定について持って行ってます。
0:07:01	最終的な結果が9 ページの結果だというふうにご認識いただければと思います。
0:07:07	はい。
0:07:11	設計説明分類として今考えていること、あと結果については以上でございまして、
0:07:16	あえてDBとSAで合わせて、
0:07:27	しかも、
0:07:29	違う。
0:07:31	大丈夫。
0:07:32	8月7日の資料でございますが、こちらの資料でも、4 ページの整理結果をもとに評価等を合わせて、戻って小貫伊達、それぞれ、
0:07:46	整理をしています。

0:07:49	7 ページここに溢水を例に、随契とSAの設計として考慮すべき事項、評価条件に当たるもの、評価の仕方といったものについて比較をしながら、
0:08:02	やはり同じようなところが、途中から井清の設計としては同情しますねと。
0:08:08	なので
0:08:11	対象の選定までは別々にしたとしても、溢水への設置制限及び水量の設定からは、同じように展開をしていけるんじゃないかということの結論までまだ導き出してませんがそういったような、
0:08:23	考え方で整理をしていければというふうに思っているところでございます。
0:08:28	簡単でございますが説明以上になります。
0:08:34	規制庁横山です。それでは規制庁側から確認事項等ありましたらお願いします。
0:09:00	引地オオハシですけれども、
0:09:06	4 日に提出のあった設計説明分類の資料の 9 ページ目ですけれども、
0:09:15	前回の今後の進め方の比とかで、重大事故辺りとかっていうのは、上の方の外的事象内的事象の方に含めると、
0:09:28	言ったような整理があるんじゃないかという話があったかと思うんですけれども、その
0:09:34	その辺の議論を踏まえても、ちょっと、ちょっとこちらのイメージと少し違ったなっていう気はするんですけれども、その辺は何か。
0:09:42	県、考慮されてることとかあるんでしょうか。
0:09:45	はい、植原でございます。はい。まず前提としておっしゃっていただいている議論は当然認識をさせていただきます。清の設備について、結局、ほとんどの部分が、言ってる外的内的の整理の中で説明しないといけないものと、
0:10:03	重複する部分があるよねということを前提に、SAの設計説明分類をどうしていくのかと、ということが課題としてあったと認識をします。結論から申し上げますと、
0:10:15	まず先ほどあった 1 設備 1 設計説明分類というのが前提でございます。そういう意味でDB生検用の設備は、
0:10:25	設計説明分類の設定は、外的内的と言って上側の分類に入れております。
0:10:31	唯一、SF単独の設備、これについて、

0:10:36	衛星特有の説明事項があるのであれば、このSAとしての設計説明分類を起す必要があるんじゃないのかということで整理をして、
0:10:47	1 ページのような形にさせていただいたというのが、ベースの考えでございました。以上です。
0:10:58	はい。
0:11:00	考え方わかりました後、
0:11:06	分け方で、重大事故の 9 ページ目で重大事故の下にその個別条文ということで、電気設備、緊対所とか、幾つかあるんですけども、これらの衛藤。
0:11:18	上の方の
0:11:19	例外的な域とかに含めるとちょっと不自然になってしまうということなんですかね。
0:11:25	会田越後も含めたりとかですね、そういった整理もあるのかなと思ったんですけども。
0:11:33	はい、二本木根井勝でございますはい。おっしゃっていただいている通りだと、施工としてはそういうことで、合わせ技、合わせて同じ中でできないかということも考えながら、
0:11:44	添付 1 が正しくその施工をするためにやったマルつけではあるんですけどまだちょっと丸付けの仕方が、この整理で本当にいいのかってのは若干ながら、クエスチョンマークが残るところあるんですけども、
0:11:56	個別で説明しないといけない、条文適合の項目が一定程度あるものはやはり個別で設定した方がいいんじゃないかということで整理をしました。
0:12:07	添付して見ていただくと、外的の防護対象等で比較をしていくと幾つか確かにマルが、その中に入って登場人物に同じ丸がつくわけではないところが幾つかあるんですが、そういう場合は、
0:12:21	同じ竜巻とかですね同じ火山とか、そういう同じ設計の流れの中での丸が若干違うというものは一連の流れでやはり説明する必要があると。
0:12:32	いうふうに思っておりますけども、
0:12:34	例えば電気の皮膚一層開放交渉みたいな特別にそこで要求事項が加わっているもの。
0:12:40	今回のような、新たに緊対としての要求が加わるようなもの、そういうものはその要求事項に対しての適合性を説明するという観点からは、
0:12:51	個別の項目として挙げたほうが説明性が高いんじゃないかということで整理をさせていただいたというのが現状案でございます。

0:13:03	通信連絡設備とかも何か
0:13:06	何か特別にやっぱ設ける。
0:13:08	横並びということなんですかねできて、
0:13:13	はい、日本原燃者でございますはい。通信連絡設備も以前から、
0:13:21	お話を、ご指摘をいただいている点で今回通信連絡については、新たな要求事項が加わっていて、それに対してやはり適合性をしっかりと説明する必要がある項目ではあるだろうと。
0:13:33	経審連絡設備だからというよりは通信連絡設備特有の要求事項に対して設計がそこに適合するという説明をする必要があるのではないかということも考えた上で、
0:13:43	項目を品で起こさせていただきました。ご相談いただいている通り通信連絡に係る他の要求事項ってのは外的っていう内的かな、外的か外的内的それぞれの要求事項が確かに加わる部分はあって、
0:13:58	それに対して設計を説明しないといけない、当然あるんですけどもあとは通信連絡としての個別の要求事項をどういうふうに合わせて説明していくかという整理の仕方かと思います。はい。
0:14:15	はい。
0:14:29	ジャンプページに関して私からは以上ですけど他の規制庁からお願いします。
0:14:37	規制庁の田尻です。江藤 9 ページとか言う前にちょっとまず今日何をしたいのかっていうところがちょっともう 1 回復習がてらなんですけど、今 8 月 4 日付の資料と 8 月 7 日付の資料が出てきているかと思うんですけど、
0:14:52	8 月 4 日は多分全体含めて設計説明分類再処理をどう分類していくかちゅう話が分かれていて 8 月 7 日の方だとお内田 DBSA の整理みたいなのが書かれてると思うんですけど、
0:15:03	これそれぞれ何までやりたいんですけど。例えば今日の資料でいうと 11 ページ以降にをつけましたよっていう話はされてるんですけど。
0:15:11	さっきの 9 ページのところろうもなんですけど、前回のヒアリングとかのところで割烹もこれでいいのっていう話は一つ一つ何かコメントしたような気がするんですけどそこに対する考え方とかは多分て特に説明はなかったような気がしつつなんですけど。
0:15:27	今日はそれぞれどこまでなくすまでざっくり質問になるんですけど、
0:15:32	目的っていうのをもう 1 回聞いていいですか。

0:15:35	はい。日本原燃者でございます。まず全体のタスク 8 月 4 日に出した資料が大枠を担っているものになります。こちらについては、前回もう、その前もですねやりとりをして僕名で本当にいいのか、
0:15:51	耐震については何を対象にしていくのかっていうようなやりとりをさせていただいたと思っております。そういったものを、前ページの中でいろいろな要求があるのかという整理をしながら、ピンで立てるものを一緒にするもの。
0:16:05	ていうのが、そのグルーピングが、確かにこれでいけそうだよねっていう枠取りをしようと思ってましたただこのタスクはゴールは何かというと、もう薬もやっていた共通に橋渡しする上で、資料に資料 3 は特に資料 2 ですね。
0:16:20	その設計説明分類でその条文を相手にするのかという整理をするというのが結果的には説明グループをどう設定してどこに主軸を終えて、
0:16:31	合わせてやるのはどれなんだというところの整理までいかないといけないと思ってまして、この 8 月 4 日の資料ではとてもゴールにもまだ行けてませんので、
0:16:42	この 8 月 4 日の考え方をもとに説明グループまで組み立てて、それを 8 月 23 にヒアリングを設定するというで以前お話したと思いますけどその時に、
0:16:54	最終的な共通乗員に橋渡しを決めたいというのが、考えてございますので、
0:17:01	これはあくまで途中のアウトプット等でこういう分類の仕方ですまずは進めていきますよということのお話を、今日はさせていただかなかったということでございます。
0:17:12	一方 8 月 7 日の方は、これも DB と SA の仕分けなんですけど、共通に至って考えたときにどういったこの仕分けが効いてくるかっていうのは、
0:17:23	和久田井川ちょっと実に単純でして、資料 2 で、36 条の資料としてどこまで書くか、12 条 11 条 8 条、12 条が溢水か、
0:17:35	12 条とか 8 条の c と d どこまでの設計を、どの設計説明分類を相手にして展開をしていくか、資料 3 にどうつなぐかというところを、
0:17:46	の整理ができれば、共通商品は進めるとして、その整備期の境界だけを、まずはこの 8 月 7 日では決めていきたいということで整理を進めてました。
0:18:00	規制庁の田尻です 8 月 4 日は全体像で 8 月 7 日がまああの共通中に引き継ぐときの設計方針とか構造設計の整理を含めてっていう古藤だ

	と思うんですけど8月4日のやつを整理する時は多分SAの話ある程度形つけてからじゃないとやりづらいんで8月7日からの話を少ししたいんですけど。
0:18:19	8月7日の資料で、ステップ1とかステップ2とかはよくわからんところがあるんですけど、
0:18:26	俺っていうのは、
0:18:28	例えば4ページのところ、先ほど、
0:18:31	それぞれについて検討しましたみたいな表がくっついてはいるんですけど、この内容について議論するのは今ですかそれとも何か今後別の機会ですって話なんですって。
0:18:43	はい、二瓶者でございます4ページは入口の入口ではありますが今日お話をさせていただく必要があると思っておりますただ前回進め方部屋ですかねDBSA合わせてというよりは例えば溢水として、例えば竜巻として、
0:18:58	設計をせ整理するということだと思いますけどそういった整理はまでは追いついてませんが、考え方としては4ページのものがスタートになりますので今日をご議論させていただければと思います。
0:19:11	はい、規制庁と実アノ1から3ページのちょっと後で戻っていくんですけど4ページのはなCなんですけど、まずここでなんですけどディー・ディー・エス合わせてD性の条件が微妙に違うのはあると思っておりますけど、
0:19:25	所々例えば航空契約課であるとか、近隣工場等火災とかですけど、例えばこの説明事項のうちう話が書かれていて、
0:19:36	発生の可能性から環境条件として考慮しないとかなの話が書かれてるんですけど、何の話でしたっけ。
0:19:43	はい。ニューメディアでございます。はい。許可本部とか伝票の中で何を売った相手に整理をしたかと、ということで、対象物を示してました。
0:19:56	発生の可能性の観点からっていうのは若干言い過ぎな気がしてまして。確率の云々の話をしてしまうと、あまりフラットな目で見れなくなってしまうのかなと。
0:20:09	一方SAの場合は置いてある場所での条件と、使ってまさしく事故が起こってる時に考えなきゃいけない条件っていうのがそれぞれあると思っ
0:20:20	ていて、 国立の話をするすると例えば事故の発生してる時に重ね合わせるかしないかという話であればそれははいけるとは思うんですけどまだ、

0:20:28	保管場所に対してそれを持ち出すのは若干、話が難しいなという気はしています。整理資料ではそういう整理をした上で、近隣工場の例えば相手にしたりですねそういった整理をしていたという記憶もありますので、
0:20:43	そういったところはまだ整理が必要かなと思ってます。
0:20:47	はい。規制庁の田尻です今言っていたように、許可も多分整理資料においては近隣工場火災とかの話SEの方でもやっていたとっていて、
0:20:57	確率論の話今言われましたけど、確率だけで言うんだったらそれは竜巻じゃなんで重ねだよって話Cであって、多分確率でいうと、かなり、それこそ航空機にも低いんじゃないかっていう確率になってしまったりもすると思うところなんですけど。
0:21:12	許可の本文とか添付において書いてた買い手内にもその整理があったはずで、例えば航空機に関して言うと、DBだのSAだとか2台の落下つてのは想定していない形になるので、
0:21:23	1台どっかに落下した時に事故が起こらないよと、別の防護対象事故が起こる対象のところ起こしなければ、
0:21:30	結局SAFアノ可搬と問ばこの話は関係なくなるので、DBの条件を超えることはないですよっていう話で整理してる可能性とかもいろいろあるとは思ってますけど、そこんところを発生の可能性からって言葉だけでやると、何でこれで抜けるのっていう話をどうしても詰めなきゃいけないくて、
0:21:47	さっき言った近隣工場等の火災に関して言うと、SAで考慮なくていいっていう話を言い出すと、森林火災との差分ってそこまでないはずですし、爆発も同じような記載で今抜かれたりするんですけど、
0:21:58	許可の本文添付の記載ってのは当然あってそれに倣いながらというところであると思ってますけど、一番をどう頭で書いてるのは、環境条件として想定しなければいけないものを考慮しますよっていうところから書いてる話だと思うのでその点も考慮して一つ一つを整理いただきたいんですけど、認識は大丈夫すかね。
0:22:18	はい。日本原燃石田でございます。はい。理解をします。
0:22:24	おっしゃっていただいたように、環境条件は、想定される条件、に対して既必要な機能を損なわない設計とするという大上段があった上での個別の話だと思ってます。そういったものを、
0:22:38	何を想定すべきかということフラットに考えて、要求事項として整理をしていければと思います。

0:22:46	規制庁館ですよろしくお願ひしますというところなんですけどちょっとすいませんまだこの4ページの話を引き続きやりたいんですけどさっき8月4日付けの資料のところと9ページのところと表があつて結局これもあそこに結びついていくもんだとは思っているんですけど、
0:22:59	DSAに関して、両方やってきますよつて事象ごとにとらえながらDBもSAもやってきますよつていう話をやったときに、
0:23:06	今言つた航空機とかそういうやつSA特有つていうふうに言つてるけど合せてやるも合せてやつていけばいいと思うんですけど。
0:23:12	本当にSA特有のものをどうするかつていうところとつて考え方聞いておきたいんですけど、さっき外的内的の次に重大事故つていうふうなものがあつたんですけどあそこで言つてる重大事故。
0:23:22	のところとつてぶら下がつて6回屋内のもので見つていうのは、ここで言つと、
0:23:28	悪影響防止とか要は環境条件以外のものがメインなんですかね。
0:23:34	はい。日本原燃社でございますまず重大事項で4日付けの資料の9ページの10ページというかアップロードですねここで言つた重大事故は対象は、
0:23:46	建物だつたり設備だつたりを相手にしているの、SA単独で、設備区分、設備が申請されているものが対象になります。例えば、
0:23:56	専用と書いてあるのは、第1保管庫とか、第2保管庫貯水槽ですかねそういうものが対象になつてくると思つてます。一方、7日付けの4ページで言つている、それぞれの説明項目で、
0:24:12	SA特有であることということについてはいわゆる操作性の確保とか、試験検査性試験検査性は
0:24:20	Bでも、いうではありますけどスペース確保するぐらいなので若干イメージが違つかなと思つながら、整理をしました。
0:24:28	というようなあと個数容量ですねそういうようなことも、SAとして考えなきゃいけない広告であると。
0:24:36	ということだと思つてます。その辺をどうつていうふうとつて最終的にまとめていくつていうイメージが、
0:24:42	まだお示しできてないので、
0:24:46	8月4日付けの9ページと8月7日付けの4ページの資料がちょっとごちゃごちゃになつてしまつてるところを、今後整理をさせていただければと思つてました。

0:24:57	基本的には、9 ページ、4 日付けの 9 ページの分類は、資料 1 で言う、各設備に紐づく設計説明分類。
0:25:07	その設計説明分類を持った関連分が 2、資料の中で、どういった設計説明分類の設備が、その設計条文設計の適合性に対応するのかと。
0:25:18	いうところの整理をしていくための、分類額が 9 ページのだと思ってます。
0:25:25	4 ページの方は、
0:25:28	資料 2 の各条文のシートの、どの条文で何を説明するかという整理の話だというふうに思ってます。その辺の、それを決めることによってどこの資料にどう反映されていってどういう整理ができるのかっていうのを、
0:25:43	次の段階ではちゃんと整理をしてそれぞれ紐付けをさせていただければと思っていました。
0:25:50	規制庁の鍛冶です最初の方の説明で 11 ページ以降のところの分類ごとのところの表はちゃんと完成してませんよっちゅう話はされていたんですけど、
0:26:00	MOXとかで言うと、主条文があって、関連条文があって、じゃあ関連条文をそこで説明しない場合はどこのタイミングで説明するかとかがあるから、あとのところで含めて全体が確認できるよねっていうのがわかるところだったんですけど。
0:26:14	まずもってそういうところがまずしっかり書かれてないところなんで、そこは整理してくださいねっていうのは、どうとは思っているんですけど、その上ですいませんちょっと認識が合ってるかよくわかんなくなっただけで 8 月 4 日付の資料の 9 ページの方なんですけど、
0:26:28	これ外的内的っていうふうに言った時、この外的内的の中には SA 設備、
0:26:34	っていうのは入ってないんですけど。
0:26:38	はい。日本原燃社でございます。SA 設備は入ってますというのが答えです。理由は、先ほど申し上げた DBSA 兼用のものは、
0:26:50	同じ他設備で DB の顔と SA とかを持っていますので、それに対して設計説明分類を 1 個起こしてやった時にはその中で SA に対する適合性も、
0:27:03	あわせて説明しないといけないという整理になると思ってます。
0:27:07	はい。規制庁鳥居です今のやつは合わせてやるやつちゅうことだと思うんですけど、だとすると重大事故で、
0:27:14	SA 単独っていうふうに言われたやつっていうのは、上のところには入らないでいいんですけど上のところを書いてある対策設備と防護対象等

	<p>つちゅうのが何までを指すかなんですけど、DTS京王のやつはそれはDBもかぶってるからSM合わせてやりますよっていうのを今言われたのはそれはそうだろうと思ってるんですけど。</p>
0:27:32	<p>その場合にSA重大事故っていうふうに言ったやつっていうのは、外的とか内的との関係でいうと、外的内的を考慮しないSEってのがいるんですけど。</p>
0:27:43	<p>稲毛西原でございます。はい。外的内的は、SA専用と書いてるやつも適用しますので、そこが先ほど申し上げた、</p>
0:27:56	<p>結局資料2とかでどういう形になるの。</p>
0:27:59	<p>経営説明、説明グループ化をやったときにどういう順番になるの。</p>
0:28:03	<p>ていうところだと思ってます。</p>
0:28:07	<p>そこが示さないと、このイメージが、最終的にどうしたいのかが伝わらないかなというのは認識をしています。</p>
0:28:14	<p>実際ですね、</p>
0:28:17	<p>言葉で言い続けてもらえないかもしれないですけど、</p>
0:28:20	<p>外的事象の例えば屋外の機器配管のチームが出たときに、この人の設計説明分類を説明するときに、当然、DBの条文である八条が登場します。</p>
0:28:37	<p>その中で、事業に対する適合性を順番に説明していくんですが、その中にDBA政権いう設備が出てくるということだと思ってます。</p>
0:28:47	<p>一方、36条にも、外的事象に対する要求事項がありますけども、ここは先ほどの8月7日の資料でどこで線引きをするかですけども、</p>
0:28:59	<p>ある一定の設計までは36条のシートで書かなきゃいけないと。</p>
0:29:04	<p>そこには、外的事象、屋外防護対象等屋外機器配管という人もいれば、重大事故屋外機器配管括弧SA専用として言う人も並んでいると。</p>
0:29:16	<p>ということです。その上で、一定の設計をそれぞれどこに預けるかを整理をする、代表選手をどうするかということを資料に整理した上で、どこかで預けて資料3の展開がされるということで、</p>
0:29:29	<p>この設計説明ぶりを、幾らこねくりまわしても結局は資料に全部登場するので、結果はあまり変わらない気はしてますけど、そういう整理の、</p>
0:29:38	<p>はいやという認識をして作業しました。</p>
0:29:43	<p>はい。規制庁田井です今言われたように9ページのフローがこの後で説明しようとする共通中にどう結びつくのが何かよくわからなくなってる状況なんじゃないかなというふうに思っていて、</p>

0:29:54	進め方ヒアリングで先日の進め方ヒアリングのところでも話出ましたけど、
0:30:00	各事象ごとにDBもSAもっていうふうにやってた時、重大事故のやつで、
0:30:06	各事象のところでは拾えないやつは多分ないはずで、でも全部拾えるけれどそこにも関連するものにはなるけれど、別途項目を立ててこう説明するところがあるんですっていうのが多分重大事故の項目の意味なんだと思ってるんですけどまずそこって認識合ってます。
0:30:23	はい。日本原燃石原でございます。はい。おっしゃっていただいている通りだと思います。
0:30:28	総じてSAのフラグを立てる必要があるかどうかはSAとして、このグラフに基づいて説明する要求事項があるかないかで決まると思ってます。
0:30:38	特別な、ピンで立ててやることがない、やる必要がないような要求事項、やる必要がある要求事項がないのであれば、上の外的内的の中に入れて、全部説明すればいいのかなというふうには思ってます。
0:30:53	はい。規制庁館です。多分その辺りが、結局外的内的重大事故内田の方の耐震とかも含めてなんですけど、上、上のグループで説明するものと、個別に立てて説明するものの方っていうのってどっかに書いてありまして前の文章を読んだつもりなんですけどいまいち読み解けなかったんですけどそれって今どっかで示してるんですけど。
0:31:13	はい。日本原燃者でございますそういう意味では、7ページが特に36条の要求事項から話が始まっている部分が、多分話をややこしくしているような気もするので、
0:31:25	そこも含めて、今一度整理をさせていただきます結局、資料を、共通要因時にどういう、この整理の結果が反映されてどういうイメージなのかっていうところが、
0:31:37	セットでないと多分イメージも、話としてどこどこへというかも決まらない気がするので、はい。その整理を進めさせていただきます。
0:31:48	成長をタジリです多分11ページ以降のところの青い表みたいのがいて、だから最初のところの外的事象内的事象のところに関しては、ここに関しては、防護対象であるとかそのときに想定する条件の違いはDBとして多少あるけれど、
0:32:04	構造設計であるとか評価の考え方ってのは統一だからまとめてやってきましょうねってのがまず基本の方針としてあって、その上で12ページ

	<p>の下のところに書いてある 36 条の話が重要事項という、下の 13 番以降で重大事故の話が書いてあって、</p>
0:32:20	<p>内的とか外的の絡みの部分に関しては、その手前部分までの内的外的とDBとあわせて説明できる形になるけれど、別項目立てて、</p>
0:32:30	<p>ちょっとこの建屋とか可搬とかってやつだけだと読みづらいところがあるんですけど、こういったものに関しては個別に説明する事項があるので後で項目が立ってって話をされたいような気はするんですけど。</p>
0:32:40	<p>その考え方と合わせて説明するからこの表ってそういう流れで並べるのねっていう形になるもんだと思ってるので、その点は整理いただければと思います</p>
0:32:50	<p>この資料でわかりやすくするのがいいのかそれとも共通順位な形で出てくるのがいいのかちょっと後ろの表、11 ページ以降のやつがわかりやすくなってできればそっちの方が見やすいのかもしれないんですけど、</p>
0:33:01	<p>その辺がわかるようにしていただきたいというのと、若干絡んでなんですけど、9 ページの一番下に耐震で機器地下水排水設備っていうふうに言ってるんですけど、</p>
0:33:09	<p>こいつは、</p>
0:33:11	<p>何もなるんですかね、耐震評価って意味だと、全部がかかるじゃないかつちゅう話が前回あって、これ結局一番下にイマイ続けるじゃないですか。ここっていうのは、</p>
0:33:21	<p>上で拾えないものが出てくるんですか。</p>
0:33:24	<p>はい、井上瀬谷でございます。まずはおっしゃっていただいている通りでございます上で防護対象等も含めて拾っているのが、基本的には安重なんかの設備であったり建屋であったりというのを対象に拾っていきますので、</p>
0:33:39	<p>最終的に、つと耐震でいうと波及していけないような人たちですね、BCクラスの波及分ですねそういったものが、Ssの変更に伴って、評価をしなきゃいけないものっていうのを、のチームとしては、</p>
0:33:54	<p>拾い上げられなくて最後に残ったものを作っていくということで整理をしました。</p>
0:34:02	<p>成長といいですという形なんだとすると、本体の耐震っていうのは多分外的とか内的のところの関連条文か何かのところにとっと存在してるんですよねきっと。</p>

0:34:13	はい、荻野石田でございますはい。おっしゃっていただいている通りです外的脳対策設備であったり防護対象等であってそれぞれに対して耐震の要求が入ります。はい。
0:34:23	規制庁田井ですなんで快適ものに関しては、対策設備の防護対象もそこんところで耐震やって、内的に関しては溢水代表として防護対象やって火災に関しては防護対策とかがいるのでそっちはそっちで耐震見てとか何か、
0:34:36	どこで何見るのかっていうのが、11 ページ以降の表を見ても正直よくわからん状況なので、
0:34:43	ちなみにちょっとちっちゃい時でちゃんと見えてないけど 16 ページ以降のやつでそれが表されてるってわけでもまだないんですよきつとは人間者でございますそれが合わせて、充てられてるわけでもありません。そこまでいってない。
0:34:56	おっしゃっているイメージは、まさしく小フクヤマた各設計説明分類に関連する主蒸気なりで、関連部分が何でもかつ説明グループを設置。
0:35:08	A社と金庫の説明グループで、説明していく状況の中で、こっから先は、どっかのグループに預けますよみたいなやりとりしてましたけども、形をつくれれば、それぞれの設計説明分類を、
0:35:22	どういうものをターゲットに説明するのかというふうなイメージがあったと思いますので、そこまでいかないといけないという認識でおりますはい。
0:35:32	規制庁土肥です今言っていたようにどこで何を説明するのかっていうのが多分最初の方がMOXでややこしくて、MOX関係条文を今回申請する対象設備の関連条文全部引っ張ってきて、
0:35:45	それぞれの条文についてここで説明しますよっていう整理をしているんですけど、最初に関しては要は今回の新基準要求のところに関連する事象とかをとらえながら整理をしてっていうところになるので、
0:35:56	では結局考慮しなければいけないものは全部拾えたんですかっていう問いは最後絶対出てくる形になるので、どのタイミングでどれについて説明するのか、何でもこういうふう後ろの方で別の枠が出てくるのかって言ったならそういうのを拾うためなんですよっていうそこも関連づけて説明していく形にならないと多分拾いきれないと思っていて、
0:36:15	11 ページ以降の表も、
0:36:17	多分もう薬フクダつーになりそうな気配はしているので、その辺り含めてっていうことかなと思ってるんですけど、そういった作業っていつまでにやる予定なんでしたっけ。

0:36:29	なんか 22 とか 20 メーターにヒアリングを予定してて 18 だったかな。イシイを出すと云ってるものが、ターゲットはそれです。
0:36:39	規制庁たです。なんで本日のヒアリング時点では事象ごとにちゃんとDBベースにまとめてやりますよっていうところはちゃんと考えているし、SAとかの単独項目が立ってるけど、
0:36:52	SA
0:36:53	なぜ建てるのか、耐震が一番後ろにいる理由とかも接着説明した上で、各条文関連条文がこれで、どこで主に説明するのかっていう議論ができるようになりますよってというのが今の現状でしたっけ。
0:37:08	はい。くみ上げ弊社でございますはい。おっしゃっていただいているところでございます。はい。
0:37:14	はい。規制庁田井です。その時になんですけど、9 ページっていう意味でいうと、例えば今対策設備は、前回のこれヒアリング時ですかね今、
0:37:24	対策、竜巻のネットとかで話を書いてあって、建屋とかに関しては手前の何ページか忘れちゃったけど文書でなかなか書いてあるところのどっかのところで、建屋っていうのは不位置付けだから他のところで見ますよと書かれてるのを見た気がするんですけど。
0:37:38	結局それぞれの事象をさっきも言ったように網羅的にちゃんとこの中に入ってるんですよってというのがわかるようにしといていただかないと多分、襟がつかなくて、特に外的事情って言うけれど、
0:37:48	中に事象いっぱいあったりするんで、その辺りも含めて、整理がわかるように書いていただく必要があると思ってるんですけどそれは別の文言で書くのか表で見えるようになるのかってのはどっちでもいいと思うんですけどそのあたりも考慮して整理されてるんですけど。はい。峰者でございます。おっしゃっていただいているような整理を進めておりますおっしゃっていただいたように、
0:38:08	防護対象と外的と言っちゃって屋内屋外で機器がありますけど、この人たちは当然竜巻のことだけ考えてるわけじゃなくて、かざであったり落雷であったりいろんな
0:38:21	外的事象として考えないといけないものっていうのを網羅して適合してるかという説明をしないといけないと思ってます。
0:38:29	一方おっしゃっていただいたもう一つの対策設備として名は打ってないけど、
0:38:35	対策として期待しているもの、効果を期待しているものってのが建屋の

0:38:41	風土だったり、多分扉だったりいろいろなものが出てくると思いますというものは建物の一部として、防護対象等屋外例えば建屋というところで説明しようと思ってますがそういうものがちゃんと入っていると。
0:38:55	ということが宣言できないといけないと思ってますので、そういう整理もあわせて今、
0:39:00	進めているところでございますそういうのがちゃんとキーワードがわかるという整理を進めないといけないという認識でもおりますので、引き続き、18日にお示しできるように、作業を進めていきます。
0:39:13	前規制庁谷です。整理進められるということでそこで見ようとは思うんですけど
0:39:21	何か今回パワポで書かれてるんですけど、文章が何か延々と羅列するというよりは、それぞれが何の説明なのかももう少し分けて書いていただけるとより議論をやりやすいかなという気がするんで、
0:39:33	何かこれだけ文字書くんでもやっぱこの意味ないかみたいな感じにはなってしまうので、要点だけ書くものを作りたいんだったら要点だけ書けばいいですし詳細説明なんて、どうせあの共通12とか含めてどっかの資料で説明されるんだと思うので、
0:39:45	何説明しようとしてるのか要はこの部分を見れば原燃がどう整理したかの考え方がわかりますよっていうところが見えるようにしていただければと思います。
0:39:56	はい、乳井上西様でございます。はい。承知いたしました。おっしゃっていただいたパワーポイントってもいいだろうという気もしますしパワポだとキーワードを変えて、
0:40:08	考え方がちゃんと伝わるようにするというので整理をさせていただきます。はい。
0:40:14	規制庁田尻です。この資料に関しては整理をされるということだと思うんで、文言細かく詰めても仕方なさそうなんでちょっとその自分が最後1点だけなんですけど、4ページのところ、さっきの整理結果一覧という表に戻るんですけどこっちだけなんですけど、比較っていうところで、ようって書いてあるのが、僕を書かれていて、
0:40:34	薬品薬品と溢水と竜巻と火山と森林火災ってあるんですけど、
0:40:42	これっていうのは何でこの五つになるかとかってどっかに書いたんでしたっけ。
0:40:48	ミナミニシウラでございますこれ一、多分まず書いてないのでここで整理をしたいことをちゃんと書いた上で示させていただきます

0:40:59	4 ページの右上には他のタスクに預けるものであるということと言った上で、7 日の資料に紐づけるようにはしてるんですけど、
0:41:08	基本的には
0:41:12	第 1 回の時に、
0:41:15	従来コガの中に 01 というのをMOX出していて、
0:41:21	養分名SAとDB情報相手に対しては素直にそのまま基本設計方針から切り分けをします。
0:41:28	要求事項としてはあるんだけど条文が立ってない人は、どっかで評価の仕方も含めて合わせてやるか、ピンで動くかということを決めなきゃいけないので、
0:41:39	こういう項目はそれぞれ添付書類でこういうふう to 展開をしていきますよといった、DBで言っている添付書類とひもづけをしてる項目と、=タカキの漏えいはもくせいなのであれですけども、
0:41:52	同じ展開を今しているつもりです。
0:41:55	その中ではなぜこうなのかっていう考え方が書いていたので、それも含めて整理を進めさせていただければと思います。基本的には溢水、化学薬品の漏えい外部衝撃で評価、設計プラス評価がつきまわっている。竜巻
0:42:14	外部火災ですかね。
0:42:16	を対象にして、整理をしていたという認識でございます。その考え方は特に変えてないというのが現状でございます。
0:42:25	支店長の田尻です。若干復習がてらで恐縮なんですけど、内部事象に関してはDBとSAで地震の大きさとか条件が変わってくるので、
0:42:36	想定 of 規模が変わったりっていうので何となくわかるんですけど、竜巻火山森林火災ってそれ評価はあると思うんですけど、DBAとSAで何か条件で差分つけてましたっけ。
0:42:48	日本原燃志田でございますどちらが急いでどちらか垂流かっていうのは置いといたとしておっしゃっていただいたように溢水化学薬品漏えい等、
0:43:00	竜巻等、外部火災については、一緒に合わせてやろうねと言ってる位置付けが若干違います。
0:43:08	その第 1 回出した時にありますけども、火山と赤じゃないわ。木場もやってたっけ。
0:43:17	外部火災等、竜巻については、条件がジャンプアップしなくて同じ建屋でしたので 1 回は対象にしているものも一緒。

0:43:28	構造も同じ所評価としての考え方も同じなので、竜巻のとか外部火災の評価の添付書類側で対象物に対してそれぞれの評価を示しますよと。
0:43:43	いうことを宣言をして重大事故から振ってます。
0:43:46	今回水沢が客については、一世ゲインの設定から漏えい経路の設定、防護対策設備の設定、
0:43:59	これ分けて評価をするということが、合理性がないんじゃないかということも含めて、同じ建屋同じ機器に対して議論をするのであれば合わせて評価をするっていう方が、
0:44:12	いいんではないかということで、合わせていきたいということをやっているの、おっしゃっていただいたように一斉化学薬品漏えいと外部衝撃側では若干ようとしている考え方が違うと。
0:44:24	いうことになると思います。その辺も整理をして、どういう考え方でここようにして整理をしていくのかというのは赤の展開をさせていただきたいと思います。
0:44:36	規制庁の館です。特に、外部事象方なんですけど、挙げられてる三つ以外ノジリ現象だって別にDBSAでアノ評価っていう形でやってないかもしれないですけど、別に降水だって持つかどうか見るだろうし積雪だって荷重見ちゃうだろうし、
0:44:53	何か笹野様がついてたら何なのかつちゅうのが正直よくわからないところがあるので、
0:44:59	さっき言ったようにDBとSA条件違わないんですっていうんだったら、じゃあ他の自然現象、外部で全部そうじゃないっていう気もしてきしまうのでその辺り含めていようだったら何なのかっていうところを、
0:45:12	はっきりしといていただける今後見やすいかなと思うんでよろしく願いします。はい。運営者でございます。承知いたしました。言い方って日本語の使い方が難しいんですけど、
0:45:23	ようになったらどうなるかっていうと、評価の添付書類がもともとあるかないかっていうので、すみ分けをしてるだけに近いので、そこがあまり短絡的にならないように整理を進めさせていただきます。
0:45:36	おっしゃったように、他のやつだって、さっき説明してますので、飛んでない、井清利用になってないとじゃあどうなんだっていうと、第1回できる重大事故側の添付書類で全部書き切ったと。
0:45:47	いう形です。その考え方はBBと一緒にですよ書きながら、個別に設計を重大事故アノ添付で展開をしたもの。

0:45:56	なので、そこでクローズするから、飛ばないの議論はしてない。整理用にしたものは、添付書類がどうしても必要になる、評価の添付がいるんだけどその添付を、
0:46:06	ピンで立たせますか、合わせ技にしますかどっちにしますかっていう整理だけです。
0:46:12	規制庁太田です。意図はわかってきました。何で伝票があつてそこに飛ばせるかどうか、添付1ぶら下がるSAの設備の評価用の家評価結果とか評価方法の添付みたいのがあるかどうかというところが気はしてきたんですけど。
0:46:26	すいません、要望だけだとうわからんという気はスルーなので、その辺りはちょっと整理いただければと思います。あと、ちなみに最後に1点だけなんですけど、4ページの表のところで、汽水がいるんですけど、気水はこれは、
0:46:40	どこになるんですかね、評価的には。
0:46:43	何か重大事故等対処設備とかになるんすか外的事象じゃなくて、外的とは言わないのこれ、外的ともSs-A特有の話で気水を使っても、もとの設備の機能が損なわれないってことを、
0:46:56	やらないといけないと通水みたいのをやるっていう最初のSA特有の要求だと思いますけど、これはどちらかという、環境条件とかでもピンで立てた項目だったので、今は一本立ち立ててますけど、
0:47:11	これが何を見るかっていうのをもうちょっとちゃんと書いた上でどこにつながるかを説明するできればと思います。
0:47:19	はい。規制庁館です結局うちの金光引いてくるときついなんできていうことだったとは思っているんですけど今回要は整理していこうとするときに、さっき言った航空機落下とか近隣工場等のやつでSA特有っていうのはなかなか、
0:47:34	DBと合わせてやるって言ったときに意外ときついただけが別に残ったりとか、何かいろいろそんな気がするので、結局それぞれどこで見るかの整理をすれば、この4ページの表自体にどこまで価値があるかっていうところにはなる気はするんですけどそのあたり含めて他に教えていただければと思うんでよろしくお願いします。
0:47:50	とりあえず4日の資料っていう意味でと自分から1名で他の方あったらお願いします。

0:47:58	オオハシですけども、この4ページ目の資料で、ちょっと何点か確認なんですけども、一番上の位置的、多様性位置的分散のところのその考え方の記載なんですけども、
0:48:10	内容的にその位置的分散のことしか書いてないように、いい気がするんですけども、この辺は多様性に関してどう考えてるんでしょうか。
0:48:24	はい、井上瀬谷でございますはい。多様性についても当然説明しないとイケないと思ってまして、そこは環境条件に振るパターンのところと、あとは自分の設計機能要求の設計として多様性を説明しないとイケないところ。
0:48:40	をしっかりと分けて、共通順位でいくとどの条文のシートでっていうのを36条のシートなんですけど、の説明を展開をしていくものだという認識でおります書ききれてないところは、
0:48:53	情報をちゃんと必要なものを付加していきたいと思えます。はい。よろしくお願ひします。あと、下の方の、近隣工場の火災と爆発なんですけども、これ発生の可能性からということで考慮してないということなんですけども、これは、
0:49:09	影響が、石油備蓄基地の火災の影響が小さいとか、あと
0:49:19	これ、
0:49:21	MOXの第1高圧ガストレーラー庫からの距離が確保されているとかそういったことかと思われたんですけども、その可能性が
0:49:29	可能性発生の可能性から考慮してないというふうに記載した理由は何かあるんです。
0:49:40	はい。人間ネシアでございます発生の可能性では、物自体のある場所との距離とか含めて、影響の可能性がないと、いうことだと思ひのです。
0:49:51	資料作る時に、若干文言をチョイスをミスしてる気がします。そこは整理を続けさせていただきます。はい。よろしくお願ひします。私から以上です。
0:50:07	規制庁神です。
0:50:10	一応、
0:50:12	聞いときますけど、
0:50:14	4日の資料で、
0:50:16	4ページですか。
0:50:19	一番下から二つ目で地震を要因とする重大事故の耐震設計となっていて、

0:50:29	本項目としての設計プロセスの比較は省略するって言うことが、ちょっとどういう、これがその共通中に行ったときに、どういうふうな仕上がりになりますよって伝えられてるのか。
0:50:44	イメージできないんですけど、ちょっとかみ砕いて、今後どうなるのっていうところを教えてくださいませんか。
0:50:54	はい。弓削志田でございますはい。すいません資料が前後していてその状況がうまく伝わらなくて恐縮でございます。4 ページにあるもの 4 日の資料の 4 ページと同じようなシートがですね、
0:51:09	7 日の資料の、同じ 4 ページですかね、2 あります。
0:51:14	今、神谷さんからご指摘いただいた頃は若干言葉が変わっ変えております。
0:51:23	資料出す時のやりとりとあと午前中にあった進め方でやりとりをして、これはまずいなというのも含めて軌道修正した部分が若干ありますので、
0:51:35	それで文言が変わっております。実際おっしゃる通り、プロセスの比較は省略するっていう話おかしくて、登場する人物を認識した上で、それで、
0:51:47	どこの分プロセスの比較の中で合わせてやっていけるのかということまでを、ちゃんと整理ができればなと思ってました。
0:51:56	あとは 1.2Ss、話が結構複雑な部分もあってですね、一定に一説に対して対処ができるということに対してどこまで見るのかと。
0:52:07	いうことをちゃんと整理をしないといけないと思ってます。現状は 1、日程は 1.0 分角田のジャンプアップ案の地震の話と、あとは 1.2Ss で起こるだろう溢水、化学薬品の漏えいといったものが、
0:52:22	まずは重大事故を対象に影響を与えないと、いうことが対象に影響を与えないっていうのは、設備自体が機能喪失しない、あとは操作ができる、そこに行けると。
0:52:33	いうことも含めて、整理をしていくということが必要だと思ってます。そういったものの全部整理をして、それぞれ上の環境条件によってボックスに当てはめていけばこれ単独で整理をする必要はないんじゃないかということがもともと聞いたかったことです。
0:52:51	はい。規制庁深見です。
0:52:55	何だろう。1.2Ss のときに、最近の話してる話でいうとアクセスルートがありますよねとかゆすいの 1.2Ss どうすんのっていうその範囲の話を、
0:53:07	していてそれに対して、ちょっと今思ってた、広げなきゃいけないんだなって頑張ってる。

0:53:13	あるんです。で、
0:53:15	私が気にしているのは、どちらかというと、
0:53:21	SA設備そのものの耐震性みたいなところで、
0:53:25	前も言いましたけど許容ちい。
0:53:29	もう、許容限界違うように書いてるんですよ。許可では、建物がほぼ一緒なんですけど、
0:53:38	とは言っても建物も確か、もうちょっと頑張るみたいな話から、機器に関しては
0:53:45	純然たる4Sじゃなくてもいいんだと、いうことは許可でも確認していて、そうすると、1.2Ssとして、どうしなきゃいけないのかっていう説明が、これはこういう機能があって、その機能を保つためにはここまで、
0:54:01	これが持っていけば、何とかなるでしょう。
0:54:05	いう話はですね、1.2Ss特有の話として出てくるんじゃないかな共通中にいると思っているんですけど、今そこが現れていないんですかその辺りって何か考えてます。
0:54:18	はい、日本イシハラでございますはい。おっしゃっていただいている通りだと認識をしておりますそこがうまく表現できてなくて恐縮でございます先週の前の方の中でも、
0:54:29	お話をさしていただいて、1.2Ss特に式が持つか持たないかというのを考えたときに、第1回のMOXでも上から云々の話もありましたけど、
0:54:42	付加価値をつけなきゃいけない部分で、徳永1.2Ssであるはずで、その辺を整理までは、当然ながら共通中にも36条のシートでしっかりと説明をしていくと。
0:54:53	ということが必要になると思ってます。あと最終的な、1.2の条件だったり対象物だったり、何を許容限界にするかっていうところを決めてしまえば後の評価は、
0:55:04	いわゆる純然たる耐震設計等同じようにやっていきますよと言ってどっかから、矢印がそちらに合流していくということで合流するまでの、
0:55:14	ところでどこまで整理をしなきゃいけないかっていうのはこの中でしっかりと書き合わす必要があるのかなというふうには思ってます。はい。
0:55:22	と規制庁カミデです。石原さんの回答分リーでいうと、資料は直せそうなんだろうなとは思ってますけど。
0:55:32	実態として、4Sよりももっと頑張る機器がどこにどれだけどんなものもあるのかと。
0:55:42	いうことはちゃんと把握できてますか。

0:55:54	はい。日本原燃志田でございますまず私自身がすべて把握できてないのでちゃんと確認をしていきたいと思います。
0:56:04	以前のときは、結果してそこまで頑張る必要がないんだというようなことのお話を聞いてましたけど、そこがまず本当かかっていうところを疑ってみる必要があるのかなと思ってますので、
0:56:15	そこも含めて整理する整理しているときの考え方だったり、その結果だったりも含めて確認をしていきたいと思います。
0:56:24	はい。規制庁深見です。さらに言うと今地盤モデルの話をしてまた揺れ動いているところだとは思いますが、
0:56:34	とは言っても申請時点ではこんな感じです。今話をしている中ではこれぐらいの幅の中で影響がありそうだとこのところは
0:56:45	把握をしていただいた上で、資料も出してもらってヒアリングでも少し話が聞けるようにすると、じゃあ共通順位でこういうところを、
0:56:55	をし耐震として、1.2Ssとして説明する必要があるねとかそれぐらいだったら耐震と一緒にやりましょうねみたいな話が、
0:57:05	できるかなと思いますので、もうちょっと深掘りをして、話ができればと思いますけど、大丈夫ですかね。
0:57:12	はい。日本原燃者でございますはい。承知いたしましたおっしゃっていただいてその整理をしておかないと、共通要因も全然ハタ橋渡しができないので、SAとしてってか 1.2Ss先生かな。
0:57:24	どういったところまで整理をしなきゃいけない。付加価値が何かということが違う部分ですね、かなりかかっていうのをしっかりと頭に入れていくことが必要だと思ってますので、
0:57:35	整理して、次回でも説明できるようにさせていただきます。はい。
0:57:41	はい、規制庁パミスわかりました。
0:57:44	あと、9 ページのところ、耐震が前回よりは 1 が下がっていてちょっとバスケットクローズ的になってますね。
0:57:54	ということと、ねえ、それが 15 ページにいくと、
0:58:02	ああそうなんだと、非安重だけがここに入ってきて安重ものはもう上で全部拾えちゃうねということになっていて、
0:58:11	8 ページにも、一番上にそういう考え方が書いてあるなというのは把握できたんですけど、
0:58:22	10、
0:58:24	15 ページですか、見ると具体例でいうと年上. クレーン等ってなってますが、

0:58:32	どうやって聞こうかな。
0:58:37	燃料タンクレンだったら、おんなじような、
0:58:40	評価をする。
0:58:42	するSクラスの、
0:58:44	クレーンってないですか。
0:58:49	はい、弓削吉田でございます。そうですね。あれに決まっていますね。
0:58:56	はい、規制庁からですねそういうものは別にいらくないですよ。
0:59:00	共通 12 として説明を起こす必要ないですね。
0:59:21	置いてましたかね。はい。
0:59:23	あ、規制庁上津今聞こえていますか。
0:59:26	はい、聞こえています。はい。
0:59:28	藤規制庁からその前の私の話を聞こえてないかな。
0:59:33	はい。規制庁の水井なので、燃料タンクレンでおそらくSクラスで似たようなものがあるだろうという場合においては、この項目 22 というところでわざわざ燃料転クレーン、
0:59:46	ボヤこういふものでずっと共通中に起こす必要ないですよ。
0:59:51	稲毛西原でございます。おっしゃっていただいて起こしたはいいけど、内容がなくてどっかへ飛んでいって話だと思うので、物がなくてもいいって結論になると思います。
1:00:01	はい。規制庁亀井です。なんで、
1:00:04	もう一息だと思っんですね。
1:00:08	ここに今通ってついてますけど、真ん中にどんなものがあるって、これらもものとして、こういうもの、ものだったり構造だったり、
1:00:18	も含めて外的内的とかそういうところで説明がしきれないものがあるれば耐震として拾いましょうということでまず考え方として、8 ページのところではそういうふう書いておいて、
1:00:32	表とかも整理しておくってことかなと思いますけどいかがですか。
1:00:38	はい。有名者でございますはい。ありがとうございます。はい。考え方をおっしゃっていただいている通りだと思います
1:00:45	他の分類の中での設計として説明する内容も踏まえた上で、バスケットクローズ的に項目はこうしつつも、本当にこれが要るのかということはそれぞれどこで何を説明するか。
1:00:58	どこ代表にしてやるのかっていうのも含めて整理をしていった中で、いるじゃないということの結論に持っていくということかと思っんですので、そう

	いった施工管理の流れ考え方であったりというのがわかるようにまずは整理をちゃんとしたと思いますはい。
1:01:13	はい、規制庁カミデそれではよろしくお願いいたしますそうなると大分綺麗になるのかなって感じがします。あとは、
1:01:21	地下水排水設備もう本当はどっかで、
1:01:25	ポンプ、もう本当はポンプとして説明があるし配管配管として説明があるだろうし、っていうところなので、
1:01:36	何か計装な気もするんだけど、何か配置設計的なところかというと、なんかどこでも拾えないのかなっていう気がして悩ましいですが、
1:01:47	そこも一緒にできる、できるのかできないのであればこういう観点でできないんだというところをちゃんと8ページなりの考え方で示していただいでですね、こういう分類になります。
1:02:00	ということで説明いただければと思います。大丈夫ですかね。
1:02:04	はい。乳井インダでございますはい。おっしゃっていただいているように、中でも考えて、分けてしまえば、ポンプと配管ですかね、の組み合わせ、そういう耐震の評価って意味でいけば、
1:02:18	ほかで拾えるよねと、あとは地下水排水設備として期待する機能の説明を、どこをやるかという時に、まず今はピンで立てさせていただきましたけど本当にこれがピンでいるのかっていうところを、
1:02:32	今一度整理を進めていって、その結論に至った考え方を、前の方のページで展開させていただくということで整理させていただければと思います。
1:02:42	はい。規制庁、
1:02:44	やり方おまかせですけど。
1:02:47	一旦地下水排水設備で共通中に起こしたらどんな感じになるのかなと思う。多分、ほとんどのものは、
1:02:54	飛ばすことになって、残るのは市みたいだっけ。それだったら何かここで一緒に示せるだろうみたいなことにもなるのかなっていう気もしますからその辺は、
1:03:06	あれですけどね
1:03:07	共通に一旦作ってからブラッシュアップっていう流れでもいいかもしれないですけどそういうふうにするのであればそういう考えもポートに入れてもらってっていう感じかと思しますので、あまり細かいところを、
1:03:21	今決める必要もないのかなという感じもしますけど、懸念として伝えて、

1:03:27	はい、日本原燃石原でございますありがとうございます他にも品で立た方がいこともこれって、共通で作った、日本語。
1:03:36	難しいですけど、
1:03:37	何でしょう、すごいしょぼいものができ上がるっていう結果になりそうなものももうすでに見えてはいるので、そこも含めて整理を進めさせていただきます。
1:03:46	はい。伊勢。
1:03:48	県庁考えてもらって後から調整でいいものと今やっておこなきゃいけないことっていうのは、
1:03:54	宇和分けて話ができばなと思います。はい。私の方からでしょうか。
1:04:03	規制庁横山です。オカ規制庁側から確認ありますでしょうか。
1:04:11	正しいです他にしなければなりません 8月7日の方の資料なんですけど、
1:04:17	幾つかだけ確認させていただきたいんですけど
1:04:21	まず最初、
1:04:22	細かなところろは、今後またどっかで確認することになると思っているんですけどまず3ページなんですけど、
1:04:30	地震随件事象に対する設計っていうのが今書かれていて、溢水薬品漏えいとあわせて構造セツツ名を実施って書いてあるんですけど、
1:04:38	ここで言ってる地震随件事象っていうのは、溢水と薬品だけの話でいいですよ、火災とかの話は火災で見てるから、ここにはいないってことですかね。
1:04:49	はい。日本原燃石田でございますはい。火災をまず、火災側で整理をしているということとあとは許可の時の話も含めて、
1:04:59	ASNの措置に影響しそうな環境をどこまで悪くするかっていう継続的なものが対象になるというふうに整理をしていたと記憶をしますので、
1:05:15	何でしょうかそれは消したら終わりですとか、そんな話も含めて、審査の時はやっていたと思います溢水とか化学薬品は守り続ける限り、かつ漏れた後の状態も継続的な状態になるので、
1:05:29	随件事象として、アノ期、
1:05:32	対処が適切にできるかという観点で見るべきものということで挙げてます。
1:05:38	井谷です。前半事象に何まで入ってるのかっていうところははっきりしてもらおうと助かります。これ、随件事象っていうとする寝具とかは別なんですよね。

1:05:50	はい。入社でございますスロッシングも、作業環境の悪化であったりSA設備の機能喪失の可能性があるかないかという観点では、
1:06:00	同じ視点で入ってくると思っております。ただ例のソーシングm臨界が起こらないとか、車機能が維持できるとか話についてはそれぞれ別の
1:06:11	個別の条文で要求が立ってますのでそちらで展開することになると思うので、あまり随件事象という整理ではないのかもしれませんが。
1:06:19	規制庁田井ですそれぞれに何が入ってるのかっていうところはっきりしといていただければと思います。あと、
1:06:25	その同じページの一番下のところにいる、近景設備って何を指してるんでしたっけ。
1:06:32	はい。日本イシハラでございますはい。SA設備にエントリーはしてないけどもよく許可のときも、
1:06:40	1.2Ssの条文のところでは受ける場所は三本柱だけ、これが、この設備は機能喪失し、
1:06:48	建てないことによって事故が起こるような状態になりませんということ、事故の発生防止みたいなものを期待している、それに1件2Ssを掛けてる設備があります。
1:07:00	その他漏えいなんかがないっていうのもほとんどこれに期待している設計になってますけども、そういったことも、1.2Ssとしては説明しないといけないという項目でした。
1:07:12	成長した字数なんで、近景設備っていう言葉がわかりづらいけど、要は1.2Ssに対して機能維持する割合静的なものっていうイメージですかね。
1:07:24	はい。イノウエのイシハラでございます言葉遣いはちょっと第1回のMOXで変な言葉を使ってしまったかもしれませんが、
1:07:32	はい。聞いて事故の起因の話をしてるわけではないです。はい。
1:07:37	規制庁田井です。何となくわかりましたの言葉は今までの整理もあるのかもしれないんで可能な範囲でわかりやすくってということでお願いします。
1:07:46	あと、すみません7ページからなんですけど、あ、すみません。誰かあればはい、規制庁カミデ緊急設備って、今回初めて使ってますか。MOXでこんな言葉使いましたっけ。
1:07:59	はい。乳井根井社でございますですね。
1:08:04	インテージの地震を要因とする重大事故等対処設備に、の耐震設計っていう項目の中に、

1:08:12	確か3も入っていてMOXも同じようにこの一番な3ページの一番最後の項目が入っていて何らか日本語
1:08:21	つけた記憶があります。
1:08:23	つけた記憶あるんですけどそれがどんな日本語だったかってあります近景ではなかったような気がします。
1:08:30	はい。はい。規制庁加部です。許可だと、地震を要因とする重大事項。
1:08:38	後はあれなんでしょうけど、何かちょっと長い名前なんですけど、永井名畑様な気がしていて、最悪許可と同じ言葉を使えば、認識は取れるんじゃないかなって気はしますけど。はい。
1:08:52	きちんきちんと使ってくださいって言うかあまり
1:08:56	安易に新しい言葉を使わないでくる。
1:08:59	くださいっていうのが大きいコメントです。はい。
1:09:02	はい。
1:09:04	はい、日本インダでございます消費、恐縮でございましたそうですねM OX基金に対して発生防止を期待する設備って言葉を使ってみました。許可では、
1:09:14	重大事故の発生を仮定する際の状態違うな、
1:09:21	事前地震の1.2倍の地震動を考慮した際に機能維持できる設計とした設備みたいなようなミナミ、言葉遣いをしたりとかっていうのもしてますそこも含めて、誤解がないように、変な言葉を使わないようにさせていただきます。はい。
1:09:36	はい。よろしく申し上げます。規制庁から。
1:09:40	はい規制庁忠ありがとうございますちょっとどっかで使われてるかどうか自信がなかったら流しましたけどわかるように書いていただければと思います。
1:09:48	あと、7ページってなんですけど、
1:09:51	これは何を表してるかですけどこれ共通項と溢水起因事象ごとに考慮する必要ありっていうのを分けると何があるんでしたっけ。
1:10:08	はい。日本原燃者でございますこちらの整理の時に一段落あげようかなと思って整理しなきゃあまり意味はないですね。はい。
1:10:19	どちらかというと、それぞれの項目で、DBSSで書き分けてますんで、上と下で共通的な音もほぼ共通だよねという話がどこかなということが提示できればいいということでした。はい。

1:10:35	規制庁田井です今お話があったように、メインDBとSAの比較のはずなんですけど、ここで半端に、この 347、番号が場所によって違ったりするんでそこは適宜精査してくださいなんですけど。
1:10:48	347 ってやつがDBSAと実はあんま関係ないような気がして極端に防護対象の道路からDBSAの差なんて生まれるに決まってるので、何か不要なもんだったら不要なもんっていうのであんまり目立たせないでいただければと思います。
1:11:03	あと、これ、溢水防護設計の全体の流れっていうのが一応書かれてるんですけど、
1:11:08	これっていうのは、今までDBの溢水の方で聞いてきた流れともまた微妙に違ったりするんですけど、何をもとにこの流れができたんでしたっけ。
1:11:30	はい。はいのギリシャでございます。答えがさっき今すいません合わせます。あってないとおかしいので合わせていきますはい。無理に違うことやっても意味がないので。はい。
1:11:42	おっしゃっていただいたように 3 番と。
1:11:45	5 番ですかね次が、経路設定してっていうような流れだと思うので、イセ側の流れに沿って、同じようにSM整理をしていって、
1:11:58	どこまでが、当然防護対象とか、評価対象設備の設定ってのは答えが変わってくるに決まっているとは思いますが、
1:12:20	正しいですけどごめんなさいを飛んでるんですけど僕の方の電波悪いですかね。
1:12:25	いや本庁も聞こえてないです。
1:12:28	あれ、現在聞こえてますか。はい。聞こえてます私の声も聞こえてなかったですよ。途中から聞こえてなかったんですけどPC合わせながらやっていきますというところで開催しました。はい。
1:12:42	あと、ついでなんですけど、8 ページ以降のところ、細かなところ置いとくとしてアクセスルートのところなんですけど僕対象の設備のところに書かれてないけどうちのPのところとかだとアクセスの話が書かれてるのは、
1:12:55	DBとしては防護対象とまでは言わないけれど、経路の考慮ってのはDBからやってますよっていうのはこんな感じで表してるイメージですかね。
1:13:02	はい。日本原燃庄田でございますはい。そういう言っていたいただいた通りでございます。防護対象とまでは銘打ってないんですけど何ですか水源を

	止めるみたいな時に、人が歩いて行ってそこに行かなきゃいけないみたいなところで、
1:13:16	アクセスルートは考慮しているということで整理をしています。
1:13:20	はい規制庁たですわかりました後、9 ページとかで言うと、
1:13:25	何かいっぱい等がついてるんですけど、
1:13:29	地震起因による溢水とかのところで1 水源とかで頭がいっぱいついてるんですけど、DBとSAで1 水源のサーとして生まれているのはこの貯水槽等って何を指してます。
1:13:40	はい、弓削根井社でございます。第1 保管庫貯水所のとか第2 保管庫貯水所の貯水槽です。2 万立米ずつあるやつです。
1:13:52	規制庁田井です。なんで、DBとしても1 水源という意味でそこにいるのはわかってるけれど、建屋の地下にいるようなやつになってるので影響を及ぼす範囲っていうやっぱり上の方で出てくるってイメージですかね。
1:14:04	医療峰社でございますこれ以前申し、ちょっと宿題になってて私回答してなかったのか、記憶があります
1:14:12	どっちの整理でもいけるかなっていうやりとりがそんな時もあったとっていて、防護対象との関係で、制限をどう見るかということで水を持つてるものとしては、当然ながら、第1 保管庫貯水槽の貯水槽とかも、
1:14:28	DBの世界でも医療はするんですけど、これはまずうDBの設備が8 体ということで、ソーシングアップの機能喪失しないの議論をする必要がないということで、線としては認識しながらも、
1:14:42	設計上考慮する以前にDBでは、東條させないと。
1:14:45	性能はそこに物があるので、その機能喪失の関係で整理が必要なので、スロッシングとしての水源としても認識をするし、スロッシングとしての評価をするということで、
1:14:57	整理ができればなというふうに思っていました。
1:15:00	はい、規制庁というすごいところで個別に確認できればと思うんですけど、何でスクリーニングアウトするタイミングが多分DBのほうが早いんだろうとは思いますがそのあたりの考え方含めて示していただかないと多分、
1:15:12	何でだっけて何かなり続けるような気がするので、どっかでしっかり資料に書いていただければなと思います。
1:15:18	12 ページ以降とか 11 ページ以降とかその先もあるってあるんですけど、DB体制を、

1:15:27	SA事象として合わせてやっていこうとするときは、基本的にはDBと同じやり方でやりますよという前提で言うと、SAとしての防護対象とSAとして溢水を評価するときの条件 11 ページぐらいまで、12 ページぐらいかな。
1:15:40	どういうふうに溢水しますかっていうところまでの条件の差とかが多分メインになると思っていて、対策の話、この後少ししますけど、基本的に対策とかの話はDBとSAで差分があるっていうふうに今なってるんですけど、
1:15:55	何で差分があるのかとかの説明をまずしっかりしていくことが重要かなというふうに思ってるんですけど、そういった形でもって今後一層のところ個別に説明すると思っていいいですかね。
1:16:05	はい、日本エリアでございますはい。整理としては溢水の中で整理をお示しすると思っておりますここではあくまで境界、どこまでがSAとして説明しないといけないけどここからはジョイントして、
1:16:20	溢水ということの事象に対して、とらまえて整理をしていくかということ、助教会とか、個別にやらなきゃいけないことっていうのの項目が出せれば、
1:16:33	このタスク自体は、バタバタを預ければいいのかなと思ってましたので、基本ベース、中身の話は、井清があると思ってました。
1:16:42	はい。稗田渡です。何でちゃんと比較して防護対象とか条件に関して差分抽出した上で何を入力しなきゃいけないのかというのをちゃんと整理してありますよっていうところがはっきりわかるようにしていただければと思います。
1:16:54	あと、対策のところろうに関してはすいません今後聞きますよと言って、なんなんですけど 1 点だけ確認なんですけど。
1:17:02	SAの方に行く等、DBTがなかったら防水シートとかの話とかもいろいろ出てくるっちゃうところはあるんですけど、
1:17:12	何かつ微妙に対策が没水被水蒸気とかで対策が違ったりするんですけど、そういったところっていうのは、それぞれの違いが説明できると思っておけばいいんですかね。
1:17:27	はい。海野イシハラでございます。はい。
1:17:32	起こってる事象に対して、守るべきものに対してどう守りにいくかという言葉、差をつけて説明できると思ってる場所もあります。

1:17:42	差をつけて説明するほどのことかというところはあえてする必要はないと思いますけどその辺クライテリアとか説明の仕方の線引きもですね合わせて整理を進めさせていただければと思います。
1:17:55	はい。規制庁田尻ですこの溢水のところで確認しようとは思ってるんですけど、被水とかに対してはカバーかシート新アノシートかけますよって言うても蒸気に関しては屋外の保管エリアから取ってきますとかってかゆするところがあって、
1:18:11	何か差分だけなんていうのが 11 ページとかにあったりするので、そういったところも考え方の違いってのをしっかり説明できるように準備いただければと思います。
1:18:21	はい。二本木ニシウラでございます。承知いたしました
1:18:28	外的事象については、サトウ、人事象も含めてですかね、外的なものについては、どちらかという位置的分散みたいなもう最大限に生かしつつ、
1:18:39	連携をすると、ということだと思ってます。一斉みたいな内的事象についてはこれも
1:18:46	分散配置といったことによって、同時に機能喪失しないっていうことが、クライテリアであれば、当然その状態、設計要件を考えて、判断基準を設定するということだと思ってますので、
1:18:59	そういうことがちゃんとわかるように、整理をしていく、あとはそれが本当にその条件が正しいのかということ、我々の方としては説明しないとイケないと、いうふうに思ってます。
1:19:12	はい。規制庁館です。
1:19:15	何か差分があるのなんでっていう単純な質問ではあるので、そこんところ再説明的にやっていただければ話は聞けるかなというふうに思ってるので、別に分散配置を否定するつもりもないんですけど、
1:19:26	何か逆に主任とかに関しては、何で対策じゃとるんでしたっけっていう感じがちょっとしてきたりするので分散配置は大体のものでしちゃってる気がするんで、そのあたり、保管場所じゃなくて対策をとる場所でのサブとかがあり得るのかもしんないんですけどそのあたりも含めて説明できるようにしていただければと思います。自分からは以上です。
1:19:48	規制庁横山です。他、8月7日の資料について規制庁間確認ありますでしょうか。
1:19:55	規制庁山口です。どうぞ。

1:19:58	こちらの資料について全体的なところアノタジリからお伝えした通り隣壁引き落とすためにちょっと条件と対象を、
1:20:08	入力を整理していただきたいのですが、今後細かい点は確認、個別に確認できればと思うんですけど、ちょっと私が1点これもちょっと細かい話になってしまうんですけども、
1:20:21	14ページの、
1:20:23	井清の対策設備のところでもっと確認したいんですけど、想定破損による1皿のところ、
1:20:31	伝播を防止する設備で、
1:20:35	静水圧及び1.0Ssに対してということで、設計書かれてるんですけど、ここって、1.0Ss
1:20:45	を考慮してるのって何でなんででしょうか。
1:20:49	はい。日本原燃瀬谷でございます。はい。最大のちょんぼがこれですいません、先に言わないといけなかったですね、想定後に1.0だっている関係ないので、これは完全に記載ミスです。
1:21:01	はい。ちょっと整理をしていきますはい。
1:21:04	成長ヤマグチでしょっていうことであれば、わかりました。15ページの紹介までいってん0が出てきますんでもうここまで来ると本当にすみませんでしたとしか言いようがないです。はい。
1:21:16	支店長山内です小渇水の方は、
1:21:21	やっぱその火災は、地震要因として想定されるから、同時に発生想定。
1:21:28	られるから入るのかなと思ったんですけどそれは要らないんですかね消火水の方は。
1:21:35	全然入らない。
1:21:41	はい、弓削石原でございますすみませんそこ私も、整理をさせていただきます。消火水の方と、
1:21:50	そんな組み合わせは考えてなかった気もするのでそこは許可のときどうだったかも含めて整理させていただきますはい。
1:21:59	院長館です。あれ、地震時の火災発生って想定してないんですけど。
1:22:08	はい。乳井光田でございます。はい。地震時んとそう私の頭がグルグル回っているのは細管火災防護設備は確かに地震はそれぞれの耐震設計に応じて、
1:22:20	守るべきのと同じクラスにしますみたいな設計をしているので当然、地震による火災は考えていますということで、火災防護設備が設計していた記憶は確かにあって、

1:22:31	あとイセ側で消火水の設計状況に対してどういう発生を想定しているかがすいません私が今頭からすっぱり抜けているので、
1:22:42	事実確認した上で整理させていただきますとお答えしました。
1:22:48	はい。規制庁館ですあり得るのは水消火あんまりやってないので組み合わせとか少ないとかいうかなというふうな気はしているんですけど、火災と溢水割と一緒にやってることが多くて、
1:22:59	火災でアノ姿勢部分とろ替えられないとかっていうふうかも含めて合わせてやってるイメージがあるので、
1:23:06	地震で火災発生しないという説明もなかなか難しいような気がしているので、その辺り含めて整理説明していただければと思います。
1:23:14	はい。乾イシハラでございます。はい。承知いたしました。
1:23:25	規制庁横山です。他系統側からありますでしょうか。
1:23:33	あ、すみません規制庁の大橋ですけれども。
1:23:36	ちょっと整理について教えて欲しいんですけど確認したいんですけども、今回
1:23:43	この資料で溢水に関して一応
1:23:46	SAとDBの会議をまとめてますけれども、他の
1:23:53	竜巻とかなんか、
1:23:55	火山とか、そういった比較をするようなものっていうのは、今後どこの場でこの資料は多分この資料で終わってるのかなって気がするんですけども。
1:24:06	どこでこうを示されるものなんでしょう。
1:24:09	十時 17 年前、角田磯野先生のイシハラでございますはい十時 17 に預けようと思ってました。まさしく、その全体像が足。
1:24:22	また説明型日ヤノ宿題になったとなっていたと認識をしていて、
1:24:28	このタスクから設計説明分類、先ほどの 7、7 日の資料から 4 日の資料のタスクに物を渡しつつ、
1:24:38	説明グループの設定等をしないといけないということと、添付書類側でどういう役割分担にするかということ溢水だけじゃなくて他の外部事象も含めて、先ほどの 4 ページの表の、
1:24:51	リバイスをしながら本当に仕分けをしなきゃいけないものが何かと、いうこと考え方の整理は言いますが、十時 17 にバトンを付けてその結果も含めて共通上に再処理の
1:25:05	トップバッターでやる人に球を付けていくということかと思ってますのでそういったことの仕分けだったり、

1:25:13	何の球をどこに預けて、どこどこをどう説明していくのかということ ステージをしていくのがまさしく進め方冷やの宿題だと認識をしてました。
1:25:25	具体的には事情等で球を使って、この後続けて他の事象もやっという こととで考えてましたということでございます。はい。
1:25:41	規制庁横山です。他、規制庁側からありますでしょうか。
1:25:50	故郷物の振り返りをお願いしたいんですけども、振替の制御時間は、
1:25:57	必要でしょうか。
1:26:02	はい。与儀理事長でございますすみません恐縮で、十分ほどいただければと思います。
1:26:07	はい。
1:26:08	規制庁横山です。そしたら今 29 分でしたら 11 時 40 分から振り返りの方を再開しますので、ぜひお願いします。
1:26:17	それで一旦 6 分を期します。
0:00:00	録音を再開しました。
0:00:02	規制庁横井横山です。それでは振り返りの方始めてください。
0:00:07	はい。杉西尾でございます。はい。本日のヒアリングの振り返りでございます。
0:00:13	① 番のところでございますが、設計説明分類の設定の話でございます。樹形図だったり表だったりを整理してありますがそれぞれの関係性をちゃんと紐づけていくということと、
0:00:29	アウトプットとして共通中に引き渡す時の整理としてどこまでするか、ということがわかるようにさせていただくということかと思っております。特にキーワードで出たのは、
0:00:40	外的の竜巻なんかで期待をするもの、建物の一部としているものが、どこに入っているのか、外的なんかで竜巻以外のものも、ちゃんと設計の説明をするようになっていくのかというところがちゃんと入っていることがわかるようにということだと認識をしています。
0:00:57	はい。②番でございますがこれは資料の形として、パワーポイントでキーワードを、目的を達成できるように必要な要素を入れていくと。
0:01:07	ということであまり分譲の羅列というくには、項目としてそれぞれちゃんと整理をして整理し記載をしていくということだと思っております。
0:01:16	② 番は、バスケットクローズ的に、耐震のところを最後に落としたんですが、その中に入っている機器でも、やはり耐震の設計としてみれば、
0:01:27	他の分類に入ってる人で代表説明ができるというものもあるだろうと。

0:01:31	地下水排水設備も他の項目品で立ててますがこれも設計の説明の内容からすると、本当にピンで立つのかということも含めて、整理を進めていくということだと認識をしています。
0:01:45	はい。④番BBSへの設計説明事項の整理でございますが、航空機、
0:01:53	低圧火災だったり、近隣工場の火災であったり、条件として必要なものが抜けなく入っているかという観点で整理をさせていただきます。
0:02:06	あと⑤番で、文節の比較の欄でようとしているものを草間さんこれが用として一体何をしたいのかと、いうことの方を書いた上で、どういったものがよくなっているのかということと紐づけをして、次の資料等、タスクとの紐づけをしていくと。
0:02:23	ということだと思います。
0:02:25	⑥番でございますが、多様性の方、1項目が多様性知的分散と書いてますが、的分散側の記載に偏ってますので、全体網羅的に抜けなく、
0:02:37	記載を整理をさせていただきます。
0:02:40	はい。⑦番ですけども4日と7日で資料の中身書いてあることが違っているところ、整理をし、
0:02:49	続けてるんですけどまだ、
0:02:51	前提にSsの考慮でどこ重大事故側でどこからが耐震設計として合わせてというところの整理をですね、十分できてないところがありますので、
0:03:02	その境界がどこかと、それぞれどういうことを説明していく必要があるのかということ、引き続き整理をして、次の資料で反映していくと。
0:03:12	ということだと思ってます。
0:03:14	はい。⑧番が、8月7日としか書いてないですけども先ほどの設計の評価を合わせてやるやつ、整理の資料の中で、
0:03:25	下水の設計の流れがDBとSAで違って部分エセ今回書いた資料が、DBで整理しているものと違って部分があるので、DBの整理に合わせて資料としての体裁も含めて、整理をしていきます。
0:03:40	⑨番、
0:03:43	第1保管庫貯水所に入って貯水槽の水源としての扱い、これDBとして先ほど口頭でお答えしたようなことですがその考え方をちゃんと整理をして、
0:03:53	スクリーンアウトするタイミングはどこなのかと、それが設計方針上適切かどうかということのご説明が必要だと思いますので、その整理をして、
0:04:03	資料の中でお示しをするということかと思います。

0:04:07	はい。あとは、防護対策のうち非清浄機、方針に差分があるところ、
0:04:16	そうですね。片一方は、
0:04:20	位置的分散だったりのことを考慮して、片一方はちゃんと設計しますと言ってみたりところの不整合あるところは整理をして、何を説明したいのかということをしかりと
0:04:32	書き表していきたいと思います。
0:04:34	はい。あとは 1.0Ss みたいな余分なところに入っていたりしたところの整理をしつつ、あとは笠井のところの地震との関係もあわせて、
0:04:44	整理をするというのが 11 番だと思っております。
0:04:48	はい。以上でございます。
0:04:54	規制庁横山です。振り返り。
0:04:56	続いて規制庁側から確認とありますでしょうか。
0:05:13	一応、ヨコヤマでそして全体通して規制庁側から何かありますでしょうか。
0:05:24	原燃から全体として確認事項等ありますでしょうか。
0:05:29	例年は特にございません。
0:05:32	はい。規制庁小椋です。
0:05:34	それではこれで本日のヒアリングを終了します。
0:05:38	録音を提出します。